

表3 指導過程

| 学習活動・内容  | 時間 | 指導の留意点   | 指導   | 分担   | 担  |  |
|--|----|--|--|--|--|--|
|  |    |  | T1   | T2   | T3   | T4   |
| <p>1、ペープサート「どうぶつ村のしんかんせん」を見る。</p> <p>(1) 歌にあわせて手遊びをする。</p> <p>○動物の動作</p> <p>○動物の鳴きまね</p> <p>(2) ペープサートに登場させたい動物の動作や鳴きまねをする。</p> <p>(3) 登場させた動物を呼ぶ。</p> <p>(4) ペープサートを見ながら動物といっしょにセリフを言う。</p> <p>○「のせて」</p> <p>○「いいよ」</p> <p>○「しゅっぱーつ」</p> <p>(5) (2)から(4)の活動を何種類かの動物でくり返す。</p> | 20 | <p>○前にでてやりたいたいという気持ちや大車にしながら、順番に動物の模倣をさせ、上手にできたことを賞賛し、活動意欲を高めよう。</p> <p>○教師が大きな動作で示したり動きを具体的に示せばでいいながら動きを引きたすようにする。</p> <p>○登場する動物の順番は、子どもの希望で決め、子どもの呼んだ動物を登場させる。</p> <p>○動物の擬態語や鳴き声、運転手とお客との会話、新幹線の音などを交えて子どももの興味を引くようにし、子どもの言う間をとりながら話を進めるようにする。</p>   | <p>○どうぶつ村に住んで動物を子どもに聞き、呼んでもくれた動物を提示する。</p> <p>○子どもを前に出させて歌に合わせて動作模倣をさせる。</p> <p>○動物村の動物たちは今日も新幹線にのって遊ぶことを話す。</p> <p>○新幹線が出てきたらどの動物をのせたいか子どもに聞く。</p> <p>○新幹線が走り出したら「トンネルに入ったよ」などの状況を表すことばがけをする。</p> | <p>○子どもといっしょに大きな動作で動物のまねをする。</p> <p>○前にでてやる子どもを励ます。</p> <p>○子どもにも舞台を注目させる。</p> <p>○テープレコーダーの操作をする。</p> <p>○子どもといっしょに大きな声で話す。</p> <p>○子どもといっしょに「トンネルに入ったよ」などの状況を表すことばがけをする。</p> | <p>○子どもといっしょに考えるとき、なかなか子どもが考えたり、動物の動作や鳴き声をつくるようにする。</p> <p>○動きの引きだしに子どもにも声がけやときには手をとるなどして促す。</p> <p>○前に出て活動している子どもにも動きを注目させ、いっしょに元気づけて活動を促す。</p> <p>○ペープサートの準備をする</p> <p>○動物を登場させるときは、動物の鳴き声を入れたり、声の調子を変えたりして子どもに興味を引くようにする。</p> <p>○しんかんせんに乗るときのことばのやりとりは、間をおいたり、子どもにも促すようにする。声がけをし、いっしょに言葉えるようにする。</p> | <p>○道真は何をどこに運ぶのかを話し、のりも遊びの期待が高まるように準備させようにする。(あとかたづけも同様)</p> <p>○しんかんせんが駅にのりもどつてくるのを楽しみ待っているよいういっしょに手拍子をしたり歌をうたったりする。</p> <p>○「くくんは「運転手かい」「お客」などと聞いたたりして遊びの期待を高める。</p> |
| <p>2、しんかんせんでのりもの遊びをする。</p> <p>(1) のりもの遊びの準備をする。</p> <p>○しんかんせん</p> <p>○えきの表示板</p> <p>○えきのペンチ</p> <p>(2) 友だちと交代でしんかんせんに乗って遊ぶ。</p> <p>○しんかんせんの乗降の仕方</p> <p>○「のりもの」の意思表示の仕方</p> <p>(3) 駅での待ち方</p> <p>○お客、運転手の役割を交代しながら遊ぶ。</p> <p>(4) のりもの遊びのあとかたづけをする。</p> <p>3、次時の予告を聞く。</p>     | 20 | <p>○子どももののりもの遊びをしたという気持ちを大切に、できるだけ子どもたちにも準備させるようにする。準備をするときは、けがをしないよう安全面に配慮する。</p> <p>○教師も遊びの一員となり、子どもたちが乗降するときのことばのやりとりを自然なかたちでできるように導く。</p> <p>○遊びが活発になれば、教師の援助を弱め、O・KやK・Uが中心となって遊びを進めていけるように働きかける。</p> <p>○駅で待つ子どもには、歌をうたったり、次の活動を引きたすことばがけを多くして、興味関心の持続をはかる。</p> <p>○「運転手になつたのはだれかな」「もつとりたいかい」などを話しかけ、次時の遊びへの期待を高める。</p> | <p>○何を準備するのか子どもたちにして教師を中心にして役割を分担する。</p> <p>○のりもの遊びをはじめるときに、乗降の仕方や順番の待ち方を話す。</p> <p>○子どもが安全に留意しながら新幹線を引く。</p> <p>○次時の予告を話す。</p>  | <p>○乗降の仕方がわかっているだけだと考へるが、とまどつていしや子どもに指さえるなどの援助をする。</p> <p>○子どもによつては待っている子どもにテープレコーダーの操作をさせよう。</p>  | <p>○しんかんせんが駅にのりもどつてくるのを楽しみに待っているよいういっしょに手拍子をしたり歌をうたったりする。</p> <p>○「くくんは「運転手かい」「お客」などと聞いたたりして遊びの期待を高める。</p>   | <p>○しんかんせんが駅にのりもどつてくるのを楽しみに待っているよいういっしょに手拍子をしたり歌をうたったりする。</p> <p>○「くくんは「運転手かい」「お客」などと聞いたたりして遊びの期待を高める。</p>   |